

第90回大会プログラム（冊子版）正誤表（2017/10/26）

	誤	正
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 ページ大会次第 「招待講演」</li> <li>・ 5 ページ部会一覧 「招待講演」</li> <li>・ 33 ページ 「招待講演」</li> </ul>	<p>「招待講演」実施時間帯 → 大会 2 日目午前 (11 月 5 日 9 : 30 ~ 12 : 30)</p>
P.4 大会次第・備考	<p>大会参加費・当日参加費</p> <p>一般会員 6,000 円</p> <p>大学院生・学生<b>非</b>会員 5,000 円</p> <p>一般非会員 7,000 円</p> <p>大学院生・学生非会員 6,000 円</p>	<p>大会参加費・当日参加費</p> <p>一般会員 6,000 円</p> <p>大学院生・学生会員 5,000 円</p> <p>一般非会員 7,000 円</p> <p>大学院生・学生非会員 6,000 円</p>
P.12 学史・学説 (1) 報告者	<p>1 社会学教科書におけるデュルケーム社会学の伝えられ方——ディシプリン再生と社会学教育①</p> <p>聖学院大学 横山寿世理</p>	<p>1 社会学教科書におけるデュルケーム社会学の伝えられ方——ディシプリン再生と社会学教育①</p> <p>○聖学院大学 横山寿世理</p> <p>日本学術振興会 梅村麦生</p>
P.13 農山漁村 報告者	<p>5 「持続可能な社会システムへの転換」の実践におけるメタファーの役割と陥穽——フードシステムを構成する諸関係の効果的な分類と可視化に向けて</p> <p>総合地球環境学研究所 太田和彦</p>	<p>(報告辞退につき削除)</p>
P.17 性・ジェンダー (1) 報告者	<p>7 世帯内無償労働のジェンダー不平等をどのように把握するか? ——「生活時間のやりくり・組み立て」という新たな分析枠組みの導入</p> <p>首都大学東京 柳下実</p>	<p>7 世帯内無償労働のジェンダー不平等をどのように把握するか? ——「生活時間のやりくり・組み立て」という新たな分析枠組みの導入</p> <p>首都大学東京大学院 柳下実</p>

	誤	正
P. 19 Session in English (1) 報告者	4 Laugh and Grow Fat—Happiness Affects Body Mass Index among Urban Chinese Adults Southwestern University 李双龍 of Finance and Economics	4 Laugh and Grow Fat—Happiness Affects Body Mass Index among Urban Chinese Adults ○Southwestern University 李双龍 of Finance and Economics <b>Nanjing University Yunsong Chen</b>
P. 21 テーマセッション8 報告者	2 異質な他者との「連帯」の検討— —障害者と健常者との共同労働の試 みから 愛知教育大学 伊藤綾香	2 異質な他者との「連帯」の検討— —障害者と健常者との共同労働の試 みから <b>国際経済労働研究所 伊藤綾香</b>
P. 26 文化・社会意識 (4) 報告者	5 文化と社会階層の多重対応分析— —2015年SSMデータを用いて ○慶應義塾大学 磯直樹	5 文化と社会階層の多重対応分析— —2015年SSMデータを用いて ○慶應義塾大学 磯直樹 <b>慶應義塾大学 竹ノ下弘久</b>
P.27 性(3) 司会者	田中俊之(学習院大学)	田中俊之(大正大学)
P.28 歴史・社会史 (2) 報告者	2 戦後高度経済成長期の団地のなか の子どもたちの生活—1965年「団地居 住者生活者実態調査」の再分析から 中京大学 相澤真一	(報告辞退につき削除)
P. 29 テーマセッション9 連名報告者	1 障害女性研究における交差性アプ ローチ ○立命館大学 渡辺克典 愛知大学 土屋葉 立命館大学 河口尚子 名古屋大学 後藤悠里 金城学院大学 時岡新 愛知教育大学 伊藤綾香	1 障害女性研究における交差性アプ ローチ ○立命館大学 渡辺克典 愛知大学 土屋葉 立命館大学 河口尚子 名古屋大学 後藤悠里 金城学院大学 時岡新 <b>国際経済労働研究所 伊藤綾香</b>

	誤	正
P.31 研究活動委員会企画テーマセッション5 報告者	1 〈都市的なるもの〉のマテリアルな位相——Assemblage アプローチの経験的 / 方法論的 / 存在論的な受容をめぐって ○日本学術振興会 森啓輔 愛知大学 植田剛史	1 〈都市的なるもの〉のマテリアルな位相——Assemblage アプローチの経験的 / 方法論的 / 存在論的な受容をめぐって ○日本学術振興会 森啓輔 愛知大学 植田剛史 <b>NPO サーベイ・岩館豊</b> <b>文京学院大学ほか</b>
P.34 家族 報告者	2 未就学児をもつ母親の賃金ペナルティの推定 立命館大学 竹内麻貴	2 未就学児をもつ母親の賃金ペナルティの推定 山形大学 竹内麻貴
P.37 社会運動 報告者	5 Lost in Translation? —An institutionalist analysis of contingencies in development NGO's efforts for social mobilization in Pakistan University of Peshawar Syed Owais	(報告辞退につき削除)
P.37 社会運動 報告者	(追加)	5 Strategic Positions of Artists as Political Actor towards Minjung Art as Symbolic Order in South Korea Seoul National University Jung, Pil Joo

	誤	正
P.38 福祉・保健・医療（4）報告者	2 遺伝性疾患の発病リスクの子への告知——遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）を事例に  ○東京大学大学院 李怡然 明治大学 水野勝之 松山短期大学 竹田英司	2 遺伝性疾患の発病リスクの子への告知——遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）を事例に  ○東京大学大学院 李怡然 <b>東京大学医科学研究所 武藤香織</b> <b>東京大学医科学研究所 吉田幸恵</b>
P.39 福祉・保健・医療（4）報告者	7 地域医療と看取りの在り方——離島（大崎上島町）における看取り患者と救急要請  ○広島国際大学 諫山憲司 訪問看護ステーションおおさき 広島商船高等専門学校 柴山慧 東洋大学 小櫃俊介 龍谷大学 鍋島直樹	（報告辞退につき削除）
P. 42 研究活動委員会企画テーマセッション10 タイトル	社会調査研究法の新しい展開	社会 <b>調査法研究</b> の新しい展開
P. 43 研究活動委員会企画テーマセッション11 報告者	2 余暇時間の構造とその社会経済的背景——社会生活基本調査の個票データを用いた実証分析  ○東京大学 石田賢示 東京大学 香川めい	2 余暇時間の構造とその社会経済的背景——社会生活基本調査の個票データを用いた実証分析  ○東京大学 石田賢示 <b>東京大学 佐藤香</b>

	内容追加
P. 43 日中ジョイントパネル	(内容追加) 1 1980年代以降の国家による都市介入と都心自治体の対応——建築規制緩和の帰結 桃山学院大学 上野淳子 2 現代日本における格差拡大と東京圏の空間構造 早稲田大学 橋本健二 3 社区組織と公共参与 Tsinghua University Zheng Lu
P. 43 招待講演	(内容追加) 第16回日本社会学会奨励賞論文の部 受賞者 松岡瑛理 受賞作品:「ヘイトスピーチに対抗する境界的マイノリティ:カウンター活動に加わる「在日」帰化者/ダブルへの聞き取り調査から」『ソシオロジ 60・3』 講演タイトル:『在日研究』に感じた絶望と希望 司会者: 轟 理恵子 (跡見学園女子大学)  第16回日本社会学会奨励賞著書の部 受賞者 榊原賢二郎 受賞作品:『社会的包摂と身体——障害者差別禁止法制後の障害定義と異別処遇を巡って』生活書院 講演タイトル: 障害理論と構築主義——『社会的包摂と身体』再論 司会者: 奥村 隆 (関西学院大学)
P. 45 中国社会科学会 長講演	(内容追加) Coordination Mechanism, Domination Structure, and Income Distribution: Social Stratification in Transitional China Fudan University LIU Xin